

ノコズはこのように使われている

ノコズ炭



いままでのノコズ炭の利用法

北海道では、上川郡朝日町の朝日炭素工業株式会社が、道内唯一のノコズ炭製造メーカーとして、昭和55年から操業しています。ここでは、加熱炉内に上下5段にセットされた炭化筒の中を、ノコズ炭がスクリーンで送られながら連続的に炭化される方式を採用しています。

ノコズ炭は古くから豆炭や練炭、活性炭など民生用や工業用にかなり用いられていますが、こうした既存の用途は消費量や流通経路が固定化しているため、あまり将来性があるとはいえません。



新しい利用法

ところが最近ノコズ炭の新しい用途が、今まで思っても見なかった分野に次第に広がってきています。たとえば融雪促進材、土壌改良材、培養土材料、堆肥添加材（農林業用）、飼料添加物、敷わら添加材（畜産用）、床下の湿気調節材、セメント改質材（建築・土木用）などがそれです。これらの分野は潜在需要が大きいだけに、将来への期待感もふくらんでいるのですが、まだ効果が一般によく理解されていないことや、学術的な裏付けに乏しいために、需要の伸びの遅いのがやや気がかりです。

（林産試験場 高橋 弘行）